

# Loop Station RC-5

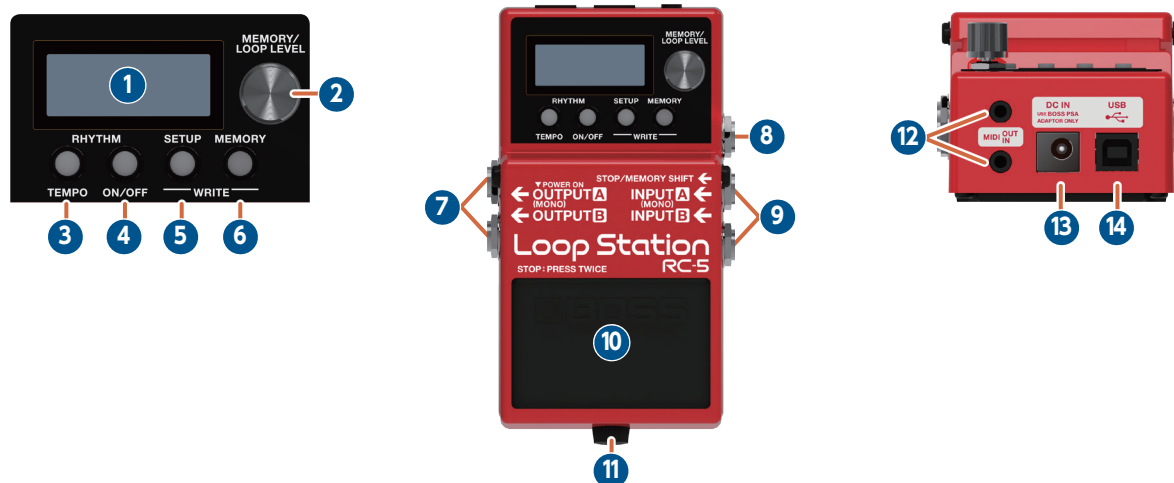
## リファレンス・マニュアル



<b>準備する</b> .....	<b>2</b>
各部の名称とはたらき .....	2
RC-5 の構成 .....	3
機器の接続 .....	4
電源を入れる/切る .....	4
<b>ループ・フレーズを作る</b> .....	<b>5</b>
録音する .....	5
リズムを聞きながら録音する .....	6
リズムを鳴らす .....	6
リズムのテンポを設定する .....	6
<b>メモリーの保存</b> .....	<b>7</b>
メモリーを保存する (ライト) .....	7
メモリーのデータを消去する (クリア) .....	7
<b>メモリーのエディット</b> .....	<b>8</b>
メモリーの設定をエディットする .....	8
リズムの設定をエディットする .....	8
メモリーのパラメーター .....	9
<b>RC-5 全体の設定 (SETUP)</b> .....	<b>12</b>
SETUP パラメーター .....	12
<b>USB でパソコンを接続する</b> .....	<b>16</b>
パソコンを接続する .....	16
データのバックアップ/復元をする .....	16
<b>MIDI を使って機器をコントロールする</b> .....	<b>17</b>
MIDI の設定 .....	17
RC-5 → 外部 MIDI 機器の操作 .....	17
外部 MIDI 機器 → RC-5 の操作 .....	18
2 台の RC-5 を接続する .....	18
<b>資料</b> .....	<b>19</b>
トラブルシューティング .....	19
エラー・メッセージ一覧 .....	20
工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット) .....	21
主な仕様 .....	22
<b>使用上のご注意</b> .....	<b>23</b>

# 準備する

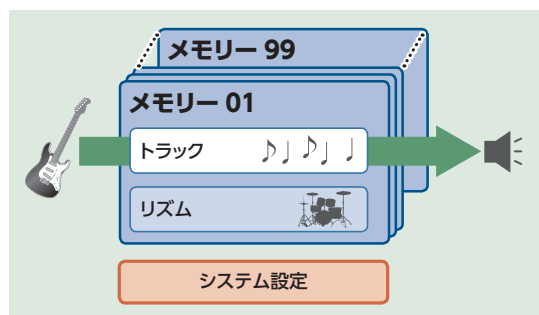
## 各部の名称とはたらき



名称	説明													
1 ディスプレイ	RC-5 のいろいろな情報を表示します。 録音／再生／オーバーダビング時には、状態に合わせて画面の色が変わります。 <table border="1"> <tr> <td>青点灯</td> <td>フレーズなし</td> </tr> <tr> <td>赤点灯</td> <td>録音中</td> </tr> <tr> <td>緑点灯</td> <td>再生中</td> </tr> <tr> <td>黄点灯</td> <td>オーバーダビング中</td> </tr> <tr> <td>白点灯</td> <td>フレーズあり</td> </tr> </table>	青点灯	フレーズなし	赤点灯	録音中	緑点灯	再生中	黄点灯	オーバーダビング中	白点灯	フレーズあり			
青点灯	フレーズなし													
赤点灯	録音中													
緑点灯	再生中													
黄点灯	オーバーダビング中													
白点灯	フレーズあり													
2 [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみ	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">プレイ画面</td> <td>回す</td> <td>メモリー (01 ~ 99) の選択、またはトラックの音量調節 (LOOP LEVEL) をします。</td> </tr> <tr> <td>押す</td> <td>メモリー選択/トラックの音量調節 (LOOP LEVEL) を切り替えます。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エディット時</td> <td>回す</td> <td>パラメーターの選択や、設定値の変更をします。</td> </tr> <tr> <td>押す</td> <td>変更するパラメーターを決定します。また、操作を確定します。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">押しながら回す</td> <td>値を大きく変化させます。</td> </tr> </table>	プレイ画面	回す	メモリー (01 ~ 99) の選択、またはトラックの音量調節 (LOOP LEVEL) をします。	押す	メモリー選択/トラックの音量調節 (LOOP LEVEL) を切り替えます。	エディット時	回す	パラメーターの選択や、設定値の変更をします。	押す	変更するパラメーターを決定します。また、操作を確定します。	押しながら回す		値を大きく変化させます。
プレイ画面	回す		メモリー (01 ~ 99) の選択、またはトラックの音量調節 (LOOP LEVEL) をします。											
	押す	メモリー選択/トラックの音量調節 (LOOP LEVEL) を切り替えます。												
エディット時	回す	パラメーターの選択や、設定値の変更をします。												
	押す	変更するパラメーターを決定します。また、操作を確定します。												
押しながら回す		値を大きく変化させます。												
3 RHYTHM [TEMPO] ボタン	リズムのテンポを設定するときに押します。 ボタンを叩く間隔でテンポを設定することもできます (タップ・テンポ)。													
4 RHYTHM [ON/OFF] ボタン	ボタンを押すたびに、リズムのオン (点灯) / オフ (消灯) / 待機 (点滅) が切り替わります。 あらかじめ設定したテンポでリズムを鳴らしながら録音すれば、正確なテンポで録音ができるようになります。 ボタンを長押し (2 秒以上) すると、リズムの設定モードになります。													
5 [SETUP] ボタン	RC-5 全体に関連する設定 (本機に接続したフットスイッチ / エクスプレッション・ペダルの機能、システムなど) をします。													
6 [MEMORY] ボタン	ループ再生 / 録音などに関する設定、リズムの設定、メモリー・ネームの設定をします。 選んだメモリーのトラックが録音済みの場合は、ボタンが緑点灯になります。													
[SETUP] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押すと、メモリーの保存 (ライト) やメモリーのデータ消去 (クリア) をすることができます。														
7 OUTPUT 端子 A (MONO)、B	アンプやモニター・スピーカーに接続します。 モノで使用するときには A (MONO) 端子のみを使用してください。ステレオで入力した音もモノで出力されます。 ※ OUTPUT A (MONO) 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを OUTPUT A (MONO) 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。RC-5 を使わないときは、プラグを抜いてください。													
8 STOP/MEMORY SHIFT 端子	別売のフットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを接続する端子です。 フットスイッチによる録音 / 再生 / オーバーダビングの停止やメモリーの切り替え、エクスプレッション・ペダルによる各パラメーターの操作など、さまざまな機能をコントロールすることができます。 ➔ 「RC-5 全体の設定 / CONTROL」 (P.13)													
9 INPUT 端子 A (MONO)、B	ギター / ベースやエフェクターを接続します。 ※ ステレオ出力のエフェクターを接続するときには A (MONO) 端子と B 端子を、モノで使用するときには A (MONO) 端子を使用してください。													

名称	説明
10 ペダル・スイッチ	フレーズの録音／再生／オーバーダビングを切り替えます。ペダルを連続して 2 回踏むと、演奏を停止します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>再生中／オーバーダビング中にペダルを 2 秒以上踏むと、アンドゥ（録音、または最後のオーバーダビングを取り消し）します。もう一度ペダルを 2 秒以上踏むと、リドゥ（取り消しをキャンセル）します。</li> <li>停止中にペダルを 2 秒以上踏むと、録音したフレーズが消去（クリア）されます。</li> </ul> <b>メモ</b> ペダル・スイッチに、別の機能を割り当てることができます。 ➔ 「RC-5 全体の設定／CONTROL」(P.13)
11 サム・スクリュー	このネジをゆるめるとペダルが開き、電池の交換ができます。 ➔ 「電池交換のしかた」(P.21)
12 MIDI IN、OUT 端子	外部 MIDI 機器を接続します。接続には、TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35）を使います。 本機と外部 MIDI 機器との間で、MIDI を使った機器のコントロールが可能になります。
13 DC IN 端子	AC アダプター（PSA-100：別売）を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。 ※AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。 ※電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。
14 USB 端子	パソコンを接続して、データのバックアップ／復元ができます。

## RC-5 の構成



### トラック

ギターなどの楽器演奏を録音し、再生します。

### リズム

トラックの再生に加えて「リズム」を鳴らすことができます。

あらかじめ設定したテンポでリズムを鳴らしながら録音することができます。

### メモリー

トラックとリズムの設定を 1 つにまとめたものを「メモリー」と呼びます。

メモリーは最大 99 種類記憶することができます。

### システム設定

ディスプレイのコントラスト調節や MIDI の設定など、RC-5 全体で共通の設定を「システム設定」と呼びます。

### 録音とオーバーダビング

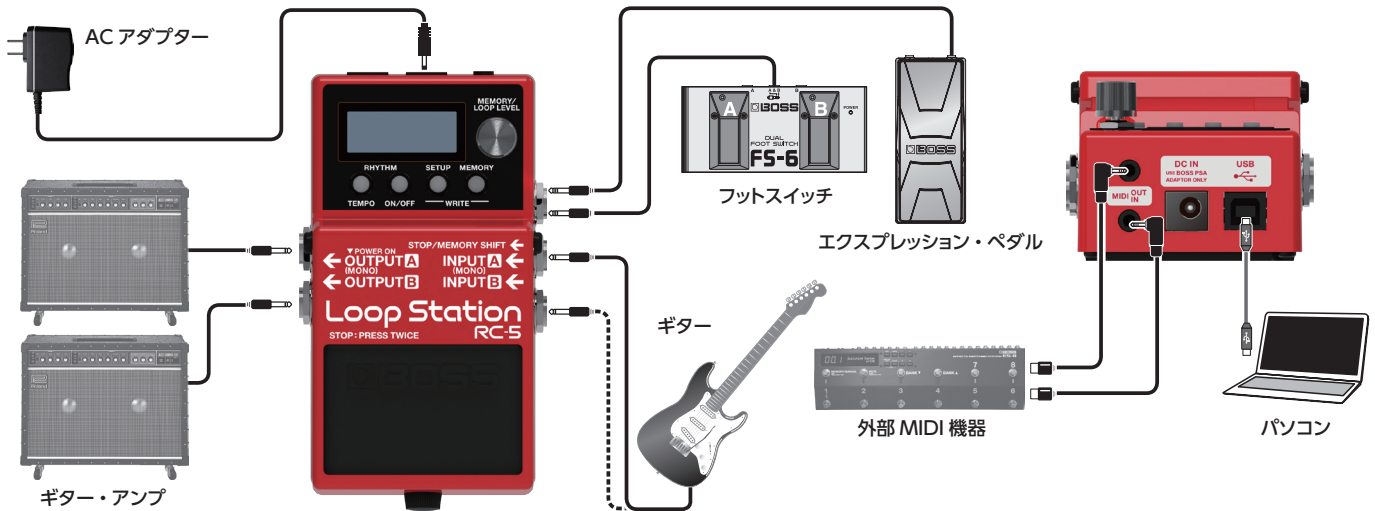
本書では、空のトラックに最初に録音することを「録音」、録音した音にさらに音を重ねる 2 周目以降の録音を「オーバーダビング」と呼びます。

### プレイ画面

起動後に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。

**01** Memory  
01

## 機器の接続



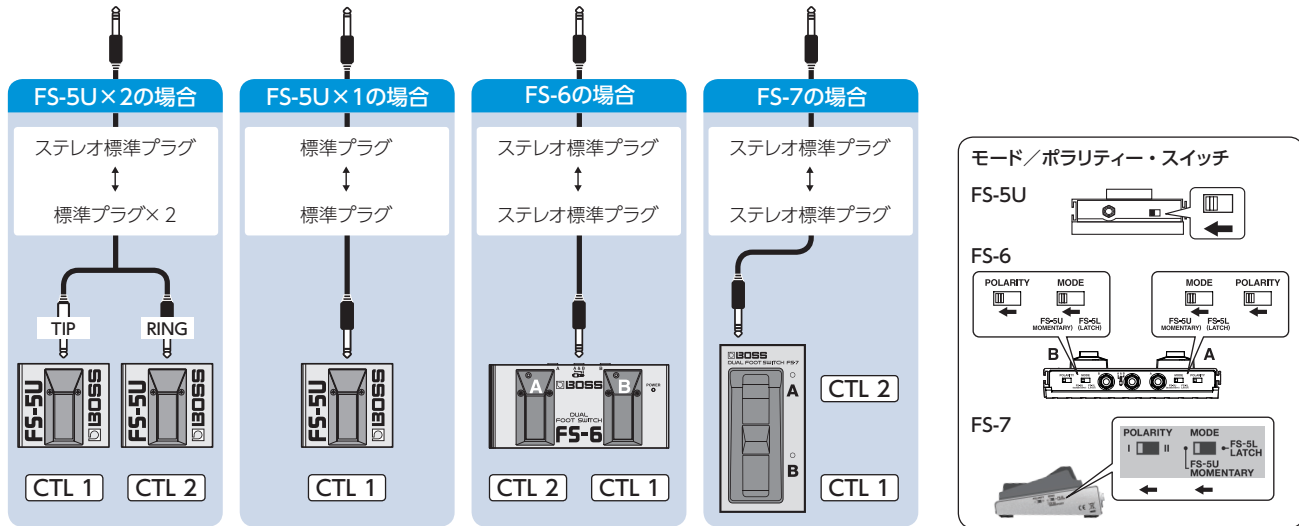
- 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売:FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

### 注意

外部ペダルを接続するときは、必ず電源を切った状態で抜き差しをしてください。電源を入れたまま接続すると、録音したデータが失われることがあります。

## フットスイッチの接続

下図を参考にフットスイッチを接続し、モード／ポラリティー・スイッチを設定してください。



## 電源を入れる／切る

OUTPUT A (MONO) 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを OUTPUT A (MONO) 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。RC-5 を使わないときは、プラグを抜いてください。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき： アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき： アンプなどの電源を最初に切ってください。

# ループ・フレーズを作る

## 録音する

### 録音の準備

[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、メモリーを選びます。

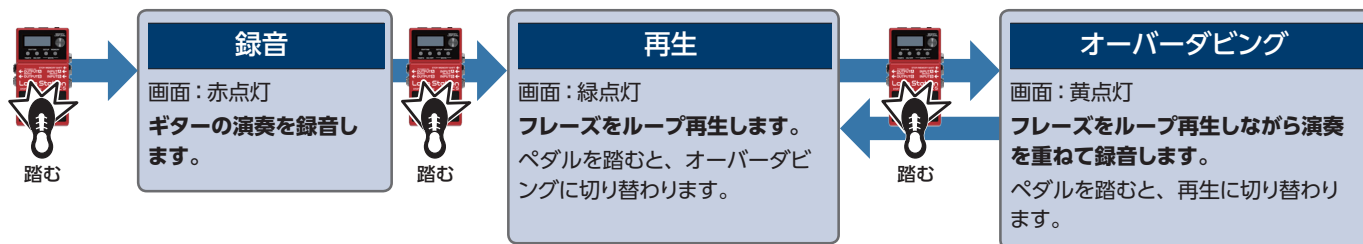


メモリー・ネーム

メモリー・ナンバー

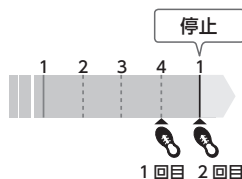
画面	状態
青	空のトラック
白	データがあるトラック

### 基本操作



#### 停止操作のテクニック

例：4/4 拍子の小節の最後に合わせて停止する  
4 拍目の頭で 1 回踏み、次の 1 拍目の頭にもう 1 回踏みます。



#### 停止

画面：白点灯  
オーバーダビングやループ再生中に、ペダルを連続で 2 回踏みます。  
※ 1 秒以内に、ペダルを 2 回踏んでください。

### 注意

最大録音時間は 1 トラックで約 1.5 時間、メモリー全体で約 13 時間です。最大録音時間を超えると、録音やオーバーダビングが途中で終了し、ループ再生に切り替わります。

### アンドゥ／リドゥ

再生中／オーバーダビング中にペダルを 2 秒以上踏むと、アンドゥ（録音、または最後のオーバーダビングを取り消し）します。  
もう一度ペダルを 2 秒以上踏むと、リドゥ（取り消しをキャンセル）します。

### クリア

停止中にペダルを 2 秒以上踏むと、録音したフレーズが消去（クリア）されます。

### リズムを聞きながら録音する

RC-5 は、トラック再生に加えて「リズム」を鳴らすことができます。

あらかじめ設定したテンポでリズムを鳴らしながら録音すれば、正確なテンポで録音できるようになります。



#### リズムを鳴らす

##### 1. RHYTHM [ON/OFF] ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、リズムのオン（点灯）／オフ（消灯）／待機（点滅）が切り替わります。

- 設定したテンポは、メモリーの設定として保存することができます。  
➔ 「メモリーを保存する（ライト）」 (P.7)
- リズムの音量やリズムの種類、リズムの鳴らしかたを設定することができます。  
➔ 「リズムの設定をエディットする」 (P.8)

#### リズムのテンポを設定する

##### 1. RHYTHM [TEMPO] ボタンを押します。

テンポ設定画面が表示されます。



##### 2. テンポ設定画面が表示されている間に [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、テンポを設定します。

設定値	40.0 ~ 300.0
-----	--------------

#### タップ・テンポ

ボタンを叩く間隔でテンポを設定することができます。

##### 1. 設定したいテンポに合わせて、RHYTHM [TEMPO] ボタンを数回叩きます。

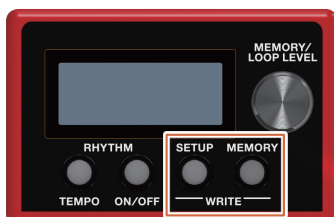
#### メモ

RHYTHM [TEMPO] ボタンを長押し（2 秒以上）すると、初期値に戻ります。

# メモリーの保存

## メモリーを保存する (ライト)

録音や設定変更をしたあとに、別のメモリーを選んだり電源を切ったりすると、録音したループ・フレーズや変更した設定は消えてしまいます。大事なデータは保存しましょう。



1. [SETUP] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。  
UTILITY 画面が表示されます。



2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して「WRITE」を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、保存先のメモリーを選びます。

- 現在選んでいるメモリーに保存する場合は、この手順は不要です。
- 中止するときは、RHYTHM [TEMPO] ~ [MEMORY] ボタンのいずれかを押します。

4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。

メモリーが保存されます。

- ※ 「EXECUTING...」 と表示されている間は絶対に電源を切らないでください。

### メモ

メモリーに名前を付けることができます。詳しくは P.11 をご覧ください。

## メモリーのデータを消去する (クリア)

各メモリーに保存されているデータを消去して、空のメモリーにします。



1. [SETUP] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。  
UTILITY 画面が表示されます。



2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して「CLEAR」を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、クリアするメモリーを選びます。

- 現在選んでいるメモリーをクリアする場合は、この手順は不要です。
- 中止するときは、RHYTHM [TEMPO] ~ [MEMORY] ボタンのいずれかを押します。

4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。

メモリーがクリアされます。

- ※ 「EXECUTING...」 と表示されている間は絶対に電源を切らないでください。

# メモリーのエディット

## メモリーの設定をエディットする

各メモリーの設定をエディットします。



1. エディットするメモリーを選びます。

2. [MEMORY] ボタンを押します。

メモリーの設定画面が表示されます。



3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回してエディットする項目を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回してエディットするパラメーターを選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



5. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して設定値を変更します。

6. [MEMORY] ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

7. エディットした設定を保存しておくときは、ライト操作 (P.7) をします。

## リズムの設定をエディットする

※リズムのパラメーターは、メモリーのエディット画面でも設定することができます。



1. リズムの設定をエディットするメモリーを選びます。

2. RHYTHM [ON/OFF] ボタンを長押しします。

リズムの設定画面が表示されます。



3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回してエディットするパラメーターを選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して設定値を変更し、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。

5. 必要に応じて、手順 3～4 を繰り返します。

6. RHYTHM [ON/OFF] ボタンを長押しして、プレイ画面に戻ります。

7. エディットした設定を保存しておくときは、ライト操作 (P.7) をします。

### メモ

リズム再生の待機中やリズム再生中にライト操作をすると、「リズム：オン」のメモリーとして保存／呼び出しをすることができます。



## メモリーのパラメーター


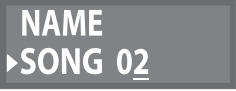
## LOOP

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
REVERSE	<b>OFF</b> 、ON	通常再生する (OFF) か、リバーズ再生する (ON) かを設定します。 ※リバーズ設定が「ON」のときは、録音終了後にオーバーダビングに切り替えることができません。
1SHOT	ワン・ショット再生か、通常のループ再生かを設定します。	
	<b>OFF</b>	通常のループ再生です。
	ON	トラックの先頭から最後までを一度だけ再生して、自動的に停止します (ワン・ショット再生)。再生中にペダル・スイッチを踏むと、トラックの先頭からもう一度再生が開始されます (リトリーガー再生)。オーバーダビングはできません。
LEVEL	0 ~ <b>100</b> ~ 200	トラックの再生レベルを調節します。 ※ [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみで再生レベルを調節することもできます。
REC ACTION	ペダル・スイッチを踏んだときの、録音/再生/オーバーダビングの切り替わる順番を設定します。	
	REC->DUB	録音→オーバーダビング→再生の順に切り替わります。
	<b>REC-&gt;PLAY</b>	録音→再生→オーバーダビングの順に切り替わります。
DUB MODE	オーバーダビングのしかたを設定します。	
	<b>OVERDUB</b>	すでに録音されているトラックに新たな演奏を重ね録りします。 オーバーダビングを繰り返すと、次々に演奏を重ね録りするので、1つのトラックでアンサンブルを作成することもできます。
	REPLACE	すでに録音されているトラックを消去して新たに録音します。 録音済みのトラックを再生しながら上書き録音するので、エフェクターのディレイに似た効果を得ることができます。
AUTO REC	[AUTO REC] (オート録音) は、ギター演奏と同時に録音を開始します。	
	<b>OFF</b>	ペダル・スイッチを踏んだ瞬間、録音を開始されます。
	ON	ペダル・スイッチを踏むと、画面が録音待機状態の表示になります。演奏を開始すると、画面が録音状態の表示に変わり、録音を開始します。
START	トラックの再生時、フェード・インしながら再生スタートさせるか、すぐに再生スタートさせるかを設定します。	
	<b>IMMEDIATE</b>	すぐに再生スタートします。
	FADE IN	フェード・インしながら再生スタートします。 ※フェード・インの長さは「FADE TIME」で設定することができます。
STOP	ペダル・スイッチを踏んだときの、トラックの停止方法を設定します。 ※停止するまでの間は、オーバーダビングできません。	
	<b>IMMEDIATE</b>	すぐに停止します。
	FADE OUT	フェード・アウトしながら停止します。 ※フェード・アウトの長さは「FADE TIME」で設定することができます。
	LOOP END	ループの最後まで再生してから停止します。
FADE TIME	♪、♪、♪、♪、1MEAS ~ <b>2MEAS</b> ~ 64MEAS	START を「FADE IN」または STOP を「FADE OUT」に設定している場合の、フェード・イン/アウトの時間を小節数で設定します。
MEASURE	トラックの小節数を設定します。 リズム音に合わせて録音するときに、録音前にあらかじめ小節数を設定しておけば、録音終了時にスイッチ操作をしなくても設定した小節の長さでループします。	
	<b>FREE</b>	録音した時間に応じて、小節数を自動設定します。
	1MEAS ~	小節数を手動で設定します。

## RHYTHM

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
LEVEL	0 ~ <b>100</b> ~ 200	リズムの音量を設定します。
REVERB	0 ~ <b>30</b> ~ 100	リズムにかけるリバーブの深さを設定します。
PATTERN	リズム・パターンを選びます。 <b>SimpleBeat1</b> ~ 4、GrooveBeat1 ~ 7、Rock1 ~ 4、Funk1 ~ 4、Shuffle1 ~ 5、Swing1 ~ 5、SideStick1 ~ 5、PercusBeat1 ~ 4、LatinBeat1 ~ 4、Conga1 ~ 3、Bossa1 ~ 2、Samba1 ~ 2、DanceBeat1 ~ 4、Metronome1 ~ 4、Blank	
VARIATION	<b>A</b> 、B	リズム・パターンのバリエーション (A または B) を選びます。
VAR.CHANGE	リズム・パターンのバリエーションを切り替えるタイミングを設定します。	
	<b>MEASURE</b>	小節の最後まで演奏して切り替わります。
	LOOP END	ループの最後まで演奏して切り替わります。
KIT	リズム再生に使うドラム・キットを選びます。	
	<b>Studio</b> 、Rock、Jazz、Brush、Cajon、R&B、808+909	
BEAT	2/4 ~ <b>4/4</b> ~ 7/4、 5/8 ~ 15/8	リズムの拍子を設定します。 ※トラックを録音したあとで変更することはできません。必ず録音前に設定してください。
START	リズム再生の始めかたを設定します。	
	<b>LOOP START</b>	ループ録音／再生のスタートに合わせてリズムが再生されます。
	REC END	ループ録音が終了して再生に切り替わったときに、リズムが再生されます。 テンポを設定しないまま演奏 → 録音スタートし、再生スタートから録音したループのテンポに合わせてリズムを鳴らして演奏する場合に有効です。
	BEFORE LOOP	ループ録音開始時のみ、リズムが再生されます。 スイッチを一度踏むとリズムが鳴り出し、もう一度踏むとリズムに合わせて録音／再生がスタートします。
STOP	リズム再生の止めかたを設定します。	
	OFF	リズムは常に再生し続けます。 外部 MIDI 機器と同期演奏する場合に、リズムを再生し続けることで同期演奏が可能になります。
	<b>LOOP STOP</b>	ループ停止に合わせて、リズムが停止します。
	REC END	ループ録音が終了すると、リズムが停止します。 録音時のガイドとしてリズムを使用したい場合に有効です。
REC COUNT	録音時にカウント・インを鳴らすか鳴らさないかを設定します。 ※トラックやリズムが再生されているときは、カウント・インは鳴りません。	
	<b>OFF</b>	カウント・インは鳴りません。
	1MEAS	1 小節のカウント・インを鳴らしてから、録音が始まります。
PLAY COUNT	再生時にカウント・インを鳴らすか鳴らさないかを設定します。	
	<b>OFF</b>	カウント・インは鳴りません。
	1MEAS	1 小節のカウント・インを鳴らしてから、再生が始まります。
FILL	OFF、 <b>ON</b>	フィル・イン付きのリズム再生にする (ON) か、フィル・インなしのリズム再生にする (OFF) かを設定します。
PART1 ~ 4	OFF、 <b>ON</b> (PART1 ~ 3) <b>OFF</b> 、ON (PART4)	ドラム・キットを構成する 4 つのドラム音 (PART1 ~ 4) について、ドラム音ごとに鳴らす (ON) か鳴らさない (OFF) かを設定します。
TONE LOW	-10 ~ <b>0</b> ~ 10	リズム音の低域の音色を調節します。
TONE HIGH	-10 ~ <b>0</b> ~ 10	リズム音の高域の音色を調節します。

## NAME

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
NAME	メモリー・ネームを設定します。 ※最大 12 文字まで	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して文字を入力する位置にカーソルを合わせ、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。 </li><li>2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して文字を選び、文字が決まったら [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。 </li></ol>

# RC-5全体の設定 (SETUP)



## 1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP 画面が表示されます。



## 2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回してエディットする項目を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



## 3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回してエディットするパラメーターを選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



## 4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、設定値を変更します。

## 5. [SETUP] ボタンを押して、プレイ画面に戻ります。

## SETUP パラメーター

### GENERAL

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
DISP CONT	1 ~ <b>5</b> ~ 10	ディスプレイのコントラストを調節します。
DISP MODE	録音／再生／オーバー・ダビング時の、画面の表示内容を設定します。	
	STATUS	録音時は「REC」、再生時は「PLAY」、オーバーダビング時は「DUB」を表示
	POSITION	録音／再生／オーバーダビングの進行状況を表示
	STATUS+POS	上段：STATUS 表示 下段：POSITION 表示
	NUMBER+POS	上段：メモリー・ナンバーを表示 下段：POSITION 表示
	NAME+POS	上段：メモリー・ネームを表示 下段：POSITION 表示
	<b>BEAT+POS</b>	上段：リズムの拍子を表示 下段：POSITION 表示
BEAT	リズムの拍子を表示	
M.EXT MIN	<b>01</b> ~ 99	メモリーの切り替わる範囲 (下限：MIN / 上限：MAX) を設定します。
M.EXT MAX	01 ~ <b>99</b>	
UNDO/REDO	アンドゥ／リドゥが実行されるタイミングを設定します。 ※PEDAL FUNC、CTL1 ~ 2 FUNC (P.13) の設定で、スイッチの長押しでアンドゥ／リドゥができる機能を割り当てているときに有効なパラメーターです。	
	<b>HOLD</b>	スイッチを踏んでいる間にアンドゥ／リドゥが実行されます。
	RELEASE	スイッチから足を離れた瞬間にアンドゥ／リドゥが実行されます。

## CONTROL

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
PEDAL FUNC  CTL1 FUNC CTL2 FUNC		ペダル・スイッチと、STOP/MEMORY SHIFT 端子に接続したフットスイッチ (CTL 1、CTL 2) の機能を設定します。
	TRK REC/PLY	トラックの録音/再生/オーバーダビングを切り替えます。 再生中/オーバーダビング中にスイッチを長押し (2 秒以上) するとアンドゥ、もう一度スイッチを長押しするとリドゥします。
	TRK R/P/S	トラックの録音/再生/停止 (スイッチ 2 回押し) を切り替えます。 録音中/再生中にスイッチを長押し (2 秒以上) するとアンドゥ、もう一度スイッチを長押しするとリドゥします。
	<b>TRK R/P/S(C)</b> (PEDAL)	トラックの録音/再生/停止 (スイッチ 2 回押し) を切り替えます。 録音中/再生中にスイッチを長押し (2 秒以上) するとアンドゥ、もう一度スイッチを長押しするとリドゥします。 停止中にスイッチを長押し (2 秒以上) すると、トラックがクリアされます。
	TRK MOM R/P	スイッチを踏んでいる間だけ、録音/再生になります。
	TRK PLY/STP	トラックの再生/停止を切り替えます。
	TRK P/S(CLR)	トラックの再生/停止を切り替えます。 録音中/再生中にスイッチを長押し (2 秒以上) するとアンドゥ、もう一度スイッチを長押しするとリドゥします。 停止中にスイッチを長押し (2 秒以上) すると、トラックがクリアされます。
	TRK STOP	トラックの録音/再生を停止させます。
	TRK STOP(TAP)	トラックの録音/再生を停止させます。停止中にスイッチを数回踏むと、踏んだ間隔でテンポを設定することができます (タップ・テンポ)。
	<b>TRK STOP(CLR)</b> (CTL1)	トラックの録音/再生を停止させます。 停止中にスイッチを長押し (2 秒以上) すると、トラックがクリアされます。
	TRK STOP(T/C)	トラックの録音/再生を停止させます。 停止中にスイッチを数回踏むと、踏んだ間隔でテンポを設定することができます (タップ・テンポ)。 停止中にスイッチを長押し (2 秒以上) すると、トラックがクリアされます。
	TRK CLEAR	トラックをクリアします。
	TRK UND/RED	トラックの録音または最後のオーバーダビングを、アンドゥ/リドゥします。
	TRK REVERSE	トラックのリバース再生をオン/オフします。
	TAP TEMPO	スイッチを数回踏み、踏んだ間隔でテンポを設定します。 スイッチを長押し (2 秒以上) すると、変更前のテンポに戻ります。
	RHYHTM P/S	リズムの再生/停止を切り替えます。
	RHYTHM PLAY	リズムを再生します。
	RHYTHM STOP	リズムの再生を停止します。
	<b>MEMORY INC</b> (CTL2)	次のメモリーに切り替えます。
	MEMORY DEC	1 つ前のメモリーに切り替えます。
EXP FUNC		STOP/MEMORY SHIFT 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。
	TRK LEVEL1	トラックの音量 (LOOP LEVEL) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
	TRK LEVEL2	LOOP LEVEL の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。
	TEMPO UP	ペダルを踏み込むと、テンポが速くなります。
	TEMPO DOWN	ペダルを踏み込むと、テンポが遅くなります。
	RHYTHM LEV1	メモリー/RHYTHM の [LEVEL] (P.10) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
	RHYTHM LEV2	メモリー/RHYTHM の [LEVEL] の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。
	MEMORY LEV1	メモリー/LOOP の [LEVEL] (P.9) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
<b>MEMORY LEV2</b>	メモリー/LOOP の [LEVEL] の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。	

## RC-5全体の設定 (SETUP)

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
		外部 MIDI 機器からのコントロール・チェンジ情報 (コントローラー・ナンバー 80 ~ 87) でコントロールする機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	TRK PLY/STP	トラックの再生/停止を切り替えます。
	TRK CLEAR	トラックをクリアします。
	TRK UND/RED	トラックの録音または最後のオーバーダビングを、アンドゥ/リドゥします。
	TRK REVERSE	トラックのリバース再生をオン/オフします。
	TRK LEVEL1	トラックの音量 (LOOP LEVEL) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
	TRK LEVEL2	LOOP LEVEL の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。
	TAP TEMPO	スイッチを数回踏み、踏んだ間隔でテンポを設定します。 スイッチを長押し (2 秒以上) すると、変更前のテンポに戻ります。
	TEMPO UP	ペダルを踏み込むと、テンポが速くなります。
	TEMPO DOWN	ペダルを踏み込むと、テンポが遅くなります。
	RHYTHM P/S	リズムの再生/停止を切り替えます。
	RHYTHM PLAY	リズムを再生します。
	RHYTHM STOP	リズムの再生を停止します。
	RHYTHM LEV1	メモリー/RHYTHM の「LEVEL」(P.10) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
	RHYTHM LEV2	メモリー/RHYTHM の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。
CC#80 FUNC	MEMORY INC	次のメモリーに切り替えます。
CC#81 FUNC	MEMORY DEC	1 つ前のメモリーに切り替えます。
CC#82 FUNC	MEMORY LEV1	メモリー/LOOP の「LEVEL」(P.9) を、0 ~ 200 の間でコントロールします。
CC#83 FUNC	MEMORY LEV2	メモリー/LOOP の「LEVEL」の設定を最大値として、0 ~ 最大値の間でコントロールします。
CC#84 FUNC	TRK REVERSE	メモリー/LOOP の「REVERSE」をコントロールします。
CC#85 FUNC	TRK 1SHOT	メモリー/LOOP の「1SHOT」をコントロールします。
CC#86 FUNC	REC ACTION	メモリー/LOOP の「REC ACTION」をコントロールします。
CC#87 FUNC	DUB MODE	メモリー/LOOP の「DUB MODE」をコントロールします。
	AUTO REC	メモリー/LOOP の「AUTO REC」をコントロールします。
	TRK START	メモリー/LOOP の「START」をコントロールします。
	TRK STOP	メモリー/LOOP の「STOP」をコントロールします。
	FADE TIME	メモリー/LOOP の「FADE TIME」をコントロールします。
	REVERB	メモリー/RHYTHM の「REVERB」をコントロールします。
	PATTERN	メモリー/RHYTHM の「PATTERN」をコントロールします。
	VARIATION	メモリー/RHYTHM の「VARIATION」をコントロールします。
	VAR.CHANGE	メモリー/RHYTHM の「VAR.CHANGE」をコントロールします。
	KIT	メモリー/RHYTHM の「KIT」をコントロールします。
	RHY START	メモリー/RHYTHM の「START」をコントロールします。
	RHY STOP	メモリー/RHYTHM の「STOP」をコントロールします。
	REC COUNT	メモリー/RHYTHM の「REC COUNT」をコントロールします。
	PLAY COUNT	メモリー/RHYTHM の「PLAY COUNT」をコントロールします。
	RHY FILL	メモリー/RHYTHM の「FILL」をコントロールします。
	RHY PART1 ~ 4	メモリー/RHYTHM の「PART1」 ~ 「PART4」をコントロールします。
	TONE LOW	メモリー/RHYTHM の「TONE LOW」をコントロールします。
	TONE HIGH	メモリー/RHYTHM の「TONE HIGH」をコントロールします。

## MIDI

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
RX CTL CH	1 ~ 16	メモリーの切り替えや RC-5 をコントロールする情報 (コントロール・チェンジ) の受信チャンネルを設定します。
OMNI	MIDI オムニ・モードを設定します。	
	OFF	RX CTL CH で設定した MIDI チャンネルの情報のみを受信します。
	<b>ON</b>	RX CTL CH の設定に関係なく、すべての MIDI チャンネルの情報を受信します。
RX NOTE CH	1 ~ <b>10</b> ~ 16	RC-5 のドラム音を鳴らすためのノート情報を受信するチャンネルを設定します。
TX CH	1 ~ 16、 <b>RX CTL</b>	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「RX CTL」にすると、RX CTL CH と同じチャンネルになります。
SYNC CLOCK	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。	
	<b>AUTO</b>	通常は内蔵テンポで動作しますが、MIDI IN 端子または USB 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。RC-5 をスレープにする場合は「AUTO」に設定します。 優先順位は、MIDI > USB > 内部クロックの順になります。
	INTERNAL	メモリーに設定されたテンポで動作します。外部機器と同期したくない場合は「INTERNAL」に設定します。
	USB	USB 端子からのテンポに同期します。
	MIDI	MIDI IN 端子からのテンポに同期します。
CLOCK OUT	OFF、 <b>ON</b>	MIDI クロックを送信する (ON) かしない (OFF) かを設定します。
SYNC START	MIDI スタート情報を受信したときに同期スタートする対象を設定します。	
	OFF	同期スタートしません。
	<b>ALL</b>	トラック + リズム
	RHYTHM	リズム
PC OUT	OFF、 <b>ON</b>	プログラム・チェンジを送信する (ON) かしない (OFF) かを設定します。
MIDI THRU USB THRU	MIDI IN 端子や USB 端子から入力した MIDI 情報を、どの端子に出力するかを設定します。	
	<b>OFF</b>	MIDI 情報を出力しません。
	MIDI OUT	MIDI OUT 端子に出力します。
	USB OUT	USB 端子に出力します。
	USB/MIDI	USB 端子と MIDI OUT 端子に出力します。

## STORAGE

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
STORAGE	<b>OFF</b> 、CONNECT	RC-5 を USB 経由でパソコンと接続するときに、OFF から切り替えます。 パソコンとの間で接続が完了すると「CONNECTING...」とメッセージが表示されます。

## F.RESET

パラメーター	設定値 (太字は初期値)	説明
F.RESET	工場出荷時の値に戻す設定を選びます。	
	<b>MEMORY</b>	メモリー 01 ~ 99
	SYSTEM	システム設定
	MEM+SYS	メモリー 01 ~ 99 とシステム設定

# USBでパソコンを接続する

RC-5 を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができるようになります。

- RC-5 のデータを、パソコンにバックアップできます。
- パソコンにバックアップしたデータを、RC-5 に戻すことができます。
- BOSS TONE STUDIO を使って、ループ・フレーズ（オーディオ・ファイル）のインポート／バックアップをすることができます。

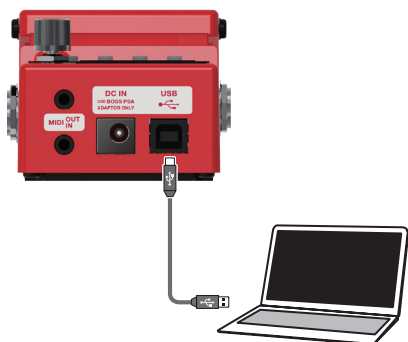
## BOSS TONE STUDIO を使う場合

下記 URL にアクセスして、BOSS TONE STUDIO をダウンロードしてください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

## パソコンを接続する

1. 市販の USB ケーブルを使って、RC-5 の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続します。



### 注意

- USB ケーブルは、USB2.0 Hi-Speed 対応のものをお使いください。
- パソコンの機種によっては、正しく動作しないことがあります。対応 OS については、BOSS のホームページをご覧ください。

## データのバックアップ／復元をする

1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP 画面が表示されます。



2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して [STORAGE] を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して、[PREPARING...] にします。

4. USB ケーブルで、RC-5 の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続します。

パソコンとの間で接続が完了すると「CONNECTING...」とメッセージが表示されます。

※ 停止状態でないときや、保存していないフレーズがあるときは USB 接続できません。

5. BOSS RC-5 ドライブを開きます。

### Windows

コンピューター（またはマイコンピュータ）内の「BOSS RC-5」（またはリムーバブルディスク）を開きます。

### Mac OS

デスクトップの「BOSS RC-5」アイコンを開きます。

6. データのバックアップ／復元をします。

### バックアップ

BOSS RC-5 ドライブの「ROLAND」フォルダーごとパソコンにコピーします。

### 復元

※ この操作をすると、現在 RC-5 に保存されているメモリーは消えてしまいます。最初にバックアップをしてください。

BOSS RC-5 ドライブの「ROLAND」フォルダーを削除してから、パソコンにバックアップしてある「ROLAND」フォルダーを BOSS RC-5 ドライブにコピーします。

### 注意

復元するとき以外は、BOSS RC-5 ドライブ内のフォルダーは削除しないでください。

7. USB ドライブの取り出しをします。

### Windows

画面右下の [ ] → [ ] アイコンから「BOSS RC-5 の取り出し」をクリックします。

### Mac OS

「BOSS RC-5」アイコンをゴミ箱（「取り出し」アイコン）にドラッグします。



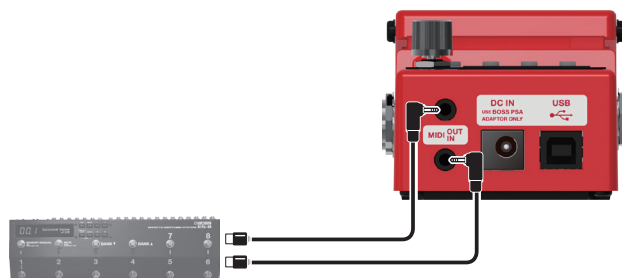
# MIDIを使って機器をコントロールする

## 接続

使いかたに合わせて、外部 MIDI 機器を接続します。

端子	説明
MIDI IN	他のMIDI機器からの情報を受ける。
MIDI OUT	本機から情報を送る。

接続には、TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35）を使います。



## MIDI の設定

MIDI では、接続する機器との間で MIDI チャンネルを合わせる必要があります。MIDI チャンネルが正しく設定されていないと、他の MIDI 機器とのデータ送受信はできません。

MIDI 設定の各パラメーターについては、P.15 をご覧ください。

## RC-5 → 外部 MIDI 機器の操作

概要	説明
<b>テンポ情報、再生／停止情報の送信</b>	
RC-5 の演奏テンポの情報を、MIDI クロックとして外部 MIDI 機器に送信できます。	<b>外部 MIDI 機器を RC-5 と同じテンポにする</b> RC-5 からは、常に MIDI クロック情報が出力されます。 外部 MIDI 機器は、あらかじめ MIDI クロック、MIDI スタート／ストップ情報を受信できるように設定してください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
RC-5 のスイッチ操作による再生／停止を MIDI 情報のスタート／ストップとして送信できます。	<b>スタート／ストップを送信する</b> MIDI 情報のスタートは、トラックが停止中にトラックの録音／再生の開始と同時に送信されます。また、オール・スタート操作をした場合も送信されます。 MIDI 情報のストップは、トラックが停止したタイミングで送信されます。また、オール・ストップ操作をした場合も送信されます。 ※トラックが停止したあと MIDI 同期演奏を続けたい場合は、RHYTHM の STOP (P.10) を「OFF」に設定します。 ※1SHOT (P.9) が「ON」のときは、スタート／ストップを送信しません。
<b>プログラム・チェンジ情報の送信</b>	
RC-5 でメモリーを選ぶと同時に、選んだメモリー・ナンバーに対応したプログラム・チェンジ情報が送信されます。	<b>プログラム・チェンジを送信する</b> RC-5 でメモリーを切り替えると、接続した外部 MIDI 機器へ MIDI のプログラム・チェンジ情報を送信します。01～99 の 99 個のメモリーに対応して、1～99 番のプログラム・チェンジ情報を送信することができます。 ※あらかじめ、PC OUT (P.15) を「ON」に設定してください。 ※プログラム・チェンジで 100～128 番を送信することはできません。 ※MIDI 情報のバンク・セレクト（コントロール・チェンジ #0、#32）を送信することはできません。

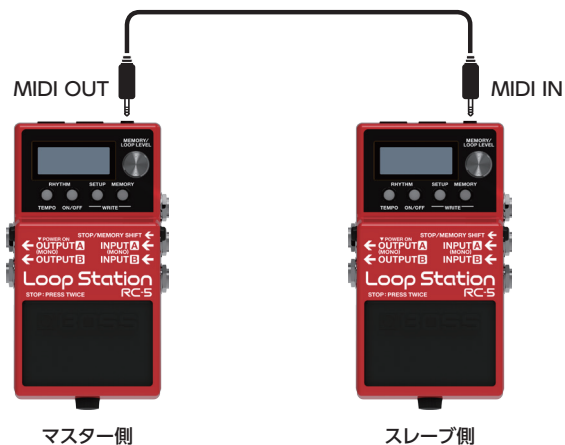
## 外部 MIDI 機器→ RC-5 の操作

概要	説明
<b>テンポ情報、再生／停止情報の受信</b>	
外部 MIDI 機器からの MIDI クロックのテンポに RC-5 が同期します。	<p><b>RC-5 を外部 MIDI 機器と同じテンポにする</b></p> <p>外部 MIDI 機器は、あらかじめ MIDI クロック、MIDI スタート／ストップ情報を送信するように設定してください。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>RC-5 の MIDI の設定で、SYNC CLOCK (P.15) を「AUTO」にしてください。</p> <p>※録音中はテンポの切り替えはできません。</p>
外部 MIDI 機器からのスタート／ストップを受信して RC-5 が再生／停止になります。	<p><b>MIDI スタートを受信する</b></p> <p>MIDI スタート (FA) を受信すると、すべてのトラックが再生されます (オール・スタート)。</p>
<b>メモリーの切り替え</b>	
外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報に対応して、RC-5 のメモリーが切り替わります。	<p><b>メモリーを切り替える</b></p> <p>外部 MIDI 機器からのプログラム・チェンジ情報で、RC-5 のメモリーを切り替えることができます。</p> <p>01 ~ 99 の 99 個のメモリーに対応して、1 ~ 99 番のプログラム・チェンジ情報を受信することができます。</p> <p>※プログラム・チェンジで 100 ~ 128 番を受信しても何も起きません。</p> <p>※MIDI 情報のバンク・セレクト (コントロール・チェンジ #0、#32) を受信しても無視されます。</p>
<b>コントロール・チェンジ情報の受信</b>	
外部 MIDI 機器からのコントロール・チェンジ情報で、RC-5 をコントロールすることができます。	<p><b>コントロール・チェンジ情報を受信する</b></p> <p>外部 MIDI 機器からのコントロール・チェンジ情報を利用することで、RC-5 本体の操作子だけでは操作が難しい機能を外部 MIDI 機器からコントロールすることができます。</p> <p>CONTROL の「CC#80 FUNC」～「CC#87 FUNC」(P.14) の設定で、コントロールしたいパラメーターを選びます。</p>

## 2 台の RC-5 を接続する

RC-5 同士を接続して、同期させることができます。

※ 接続には、ステレオ・ミニ・プラグ ↔ ステレオ・ミニ・プラグのケーブルを使います。



- マスター側の RC-5 のトラックから録音を開始します。
- マスター側 RC-5 のトラック再生スタートに合わせて、スレーブ側の RC-5 がスタートします。
- スレーブ側のトラックは、マスター側のメモリーに設定されているテンポで再生されます。

## トラブルシューティング

問題	確認事項	対処
<b>音に関するトラブル</b>		
音が出ない／音が小さい	他の機器と正しく接続されていますか？	他の機器との接続を確認してください (P.4)。
	接続しているアンプ／ミキサーの電源が入っていないか、またはボリュームが下がっていませんか？	接続している機器の設定を確認してください。
	接続ケーブルが断線していませんか？	接続ケーブルを交換してみてください。
	トラックのレベルは正しく設定されていますか？	[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみで、適切なレベルに調節してください。 メモリー／LOOP の「LEVEL」の設定を確認してください (P.9)。 外部エクスプレッション・ペダルなどでレベルを調節する設定をしていないか確認してください (P.13)。
	録音済みですか？	[MEMORY] ボタンを見て録音済みかどうか確認してください。 [MEMORY] ボタンが消灯している場合は、録音されていません。
リズムが鳴らない	リズムの音量は正しく設定されていますか？	メモリー／RHYTHM の「LEVEL」の設定を確認してください (P.10)。
録音したトラックの先頭と終端の音が欠けて聞こえる	録音開始時と終了時には、ノイズが出ないようにフェード・イン、フェード・アウトの処理がされています。そのため、音が欠けて聞こえる場合があります。	
<b>操作に関するトラブル</b>		
メモリーが切り替わらない	ディスプレイの表示がプレイ画面以外になっていませんか？	プレイ画面以外ではメモリーの切り替えができません。 [MEMORY] ボタンを押してプレイ画面に戻してください。
録音／オーバーダビングが途中で終わってしまう	メモリーの残量が少なくなっていますか？	メモリー不足の場合は、不要なメモリーをクリア (P.7) してから、録音／オーバーダビングをしてください。
再生テンポが変わらない	録音中やオーバーダビング中ですか？	録音中やオーバーダビング中はメモリーのテンポを変更できません。停止中、再生中にテンポを変更してください。
	MIDI 同期中ですか？	MIDI IN 端子や USB 端子から MIDI クロックを受信すると、RC-5 は MIDI クロックにテンポ同期します。 外部機器と同期したくない場合は SYNC CLOCK を「INTERNAL」に設定します (P.15)。
MIDI 情報を送受信しない	MIDI ケーブルが断線していませんか？	MIDI ケーブルを交換してください。
	外部 MIDI 機器とは正しく接続されていますか？	外部 MIDI 機器との接続を確認してください。
	外部 MIDI 機器と MIDI チャンネルが一致していますか？	両方の機器の MIDI チャンネルが一致していることを確認してください。
	(RC-5 から送信する場合) 送信するための設定がされていますか？	TX CH (送信チャンネル) の設定や、PC OUT (プログラム・チェンジ情報送信) のオン／オフを確認してください (P.15)。
<b>USBに関するトラブル</b>		
パソコンと通信できない	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください (P.16)。
	(USB でパソコンとファイルのやり取りをする場合) 「STORAGE」が OFF になっていませんか？	「データのバックアップ／復元をする」(P.16) の手順で STORAGE を「PREPARING...」にしてください。
	メモリーのエディット中ではありませんか？	保存していないメモリーがあるときは、USB 接続できません。 メモリーを保存 (P.7) してから USB 接続をやり直してください。

## エラー・メッセージ一覧

メッセージ	意味	対処
<b>LOOPER</b>		
DATA DAMAGED	データが壊れています。	ファクトリー・リセット (P.21) で「SYS + MEM」を選び、RC-5 を工場出荷時の状態に戻してください。
DATA READ ERR DATA WRITE ERR	本体メモリーの内容に問題が発生しました。	お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご連絡ください。
DATA TOO LONG	録音時間／オーディオ・ファイルが長すぎるため、再生できません。	録音時間／オーディオ・ファイルの長さを 1.5 時間以内にしてください。
DATA TOO SHORT	録音時間／オーディオ・ファイルが短すぎるため、再生できません。	録音時間／オーディオ・ファイルの長さを 0.1 秒以上にしてください。
EVENT FULL	これ以上オーバーダビングができません。	メモリーを保存してください (P.7)。
MEMORY FULL	1トラックの録音時間が 1.5 時間 (約) を超えました。カレント・トラックには、これ以上録音できません。	メモリーを保存してください (P.7)。録音を続けるときは、別のメモリーを選んでください。
	メモリー全体で録音時間が 13 時間 (約) を超えました。これ以上録音できません。	不要なメモリーをクリア (P.7) してください。
NOT EMPTY	すでにフレーズが録音されているメモリー上書き保存をしようとしています。	現在選んでいるメモリーをクリア (P.7) するか、空のメモリーを選んでください。
TEMPO TOO FAST	トラックを、録音したときよりもかなり速いテンポで再生させているため、正しく再生できません。	テンポを調節してください。
TEMPO TOO SLOW	トラックを、録音したときよりもかなり遅いテンポで再生させているため、正しく再生できません。	
TOO BUSY	本体システムで、データが処理しきれませんでした。	演奏テンポを下げてください。 [TOO BUSY OMSG] の場合は、録音時のテンポに戻してください。
TOO BUSY OMSG	[TOO BUSY OMSG] の場合： 録音したときよりもかなり遅いテンポに設定したフレーズにループ FX をかけようとしているため、データが処理しきれませんでした。	現在の内容をメモリーに保存してください。 頻繁に表示されるようになったときは、パソコンにデータをバックアップしてからファクトリー・リセット「SYS + MEM」を実行し、そのあとでデータの復元をしてください (P.21、P.16)。
UNDEFINED ERR	録音／再生／オーバーダビング中に、原因不明のエラーが発生しました。	お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご連絡ください。
<b>MIDI</b>		
BUFFER FULL	受信した MIDI メッセージの量が多いため、正しく処理できませんでした。	RC-5 に送信する MIDI メッセージの量を少なくしてください。
OFFLINE	MIDI ケーブルの接続に問題があります。	ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。
<b>その他</b>		
BATTERY LOW	電池が消耗しています。	電池を交換するか、AC アダプターを使ってください。
BATTERY LOW!! STOP ALL	電池の消耗により、正常に機能しません。 RC-5 の全動作を停止します。	
MEMORY FULL	本体メモリーが不足しています。このメッセージが表示されると、録音やオーバーダビングが途中で終了してしまうことがあります。	不要なメモリーをクリア (P.7) してから、録音をやり直してください。
STOP LOOPER	録音／再生／オーバーダビング中は、操作できません。	停止させてから操作してください。
STOP ALL	録音／再生／オーバーダビング／リズム再生中は、操作できません。	すべてを停止させてから操作してください。
STOP ALL&SAVE	録音／再生／オーバーダビング／リズム再生中で、さらに保存していないデータがあるときは、操作できません。	すべてを停止させてから、メモリーを保存 (P.7) してください。
UNSUPPORTED FILE	再生不可能なオーディオ・ファイルです。	オーディオ・ファイルのフォーマットを確認してください。
		RC-5 にオーディオ・ファイルをインポートするときは「BOSS TONE STUDIO」を使ってください。

## 工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

※ 「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは、パソコンにバックアップしてください。

### 1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP 画面が表示されます。



### 2. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して [F.RESET] を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。



### 3. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して戻したい設定を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。

設定値	説明
MEMORY	メモリー 01 ~ 99
SYSTEM	システム設定
MEM+SYS	メモリー 01 ~ 99 とシステム設定

「ARE YOU OK?」と確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、「CANCEL」を選んで [MEMORY/VALUE] つまみを押します。

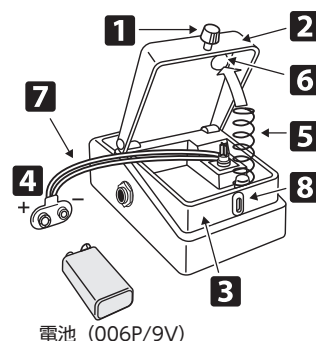
### 4. [MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを回して [OK] を選び、[MEMORY/LOOP LEVEL] つまみを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

※ 「EXECUTING...」と表示されている間は絶対に電源を切らないでください。

ファクトリー・リセットが完了すると、プレイ画面に戻ります。

## 電池交換のしかた



電池 (006P/9V)

### 1. ペダルを押さえながらペダル手前のサム・スクリュー **1** をゆるめて、ペダル **2** を上に開きます。

※ サム・スクリューは、ペダルからはずさずに電池交換できます。

### 2. バッテリー・ケース **3** から電池を取り出し、電池スナップ **4** をはずします。

### 3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

※ 電池の極性 (+/-) を間違えないように、ご注意ください。

### 4. コイル・スプリング **5** をペダル裏のスプリング台座凸部 **6** に入れ、ペダルを閉じます。

※ 電池スナップ・コード **7** を、ペダルやコイル・スプリングにはさまないようにご注意ください。

### 5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴 **8** に入れ、確実に締めてください。

## 主な仕様

サンプリング周波数	44.1kHz
AD、DA 変換	32 ビット
内部演算	32 ビット浮動小数点
録音／再生	トラック数：1 データ形式：WAV（44.1kHz、ステレオ 32 ビット浮動小数点） 約 1.5 時間（1トラック）、約 13 時間（メモリー合計）
リズム・タイプ	57 パターン× 2 バリエーション
リズム・キット	7 種類
エフェクト	リバーブ（リズム・パートのみ）
メモリー	99
規定入力レベル	INPUT A/MONO、B：-20dBu
入力インピーダンス	INPUT A/MONO、B：1M $\Omega$
規定出力レベル	OUTPUT A/MONO、B：-20dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A/MONO、B：1k $\Omega$
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A/MONO、B：10k $\Omega$ 以上
バイパス	バッファード
コントロール	MEMORY/LOOP LEVEL つまみ MEMORY ボタン、SETUP ボタン、RHYTHM ON/OFF ボタン、RHYTHM TEMPO ボタン ペダル・スイッチ
ディスプレイ	グラフィック LCD 96 × 32 ドット（RGB バックライト付き）
接続端子	INPUT A/MONO、B 端子：標準タイプ OUTPUT A/MONO、B 端子：標準タイプ STOP/MEMORY 端子：TRS 標準タイプ USB 端子：USB B タイプ MIDI（IN、OUT）端子：ステレオ・ミニ・タイプ DC IN 端子
電源	アルカリ電池（9V 形） AC アダプター（別売）
消費電流	170mA
連続使用時の電池の寿命	使用状態によって異なります。 アルカリ電池：約 2 時間
外形寸法	73（幅）× 129（奥行）× 56（高さ）mm
質量	405g 450g（電池を含む）
付属品	取扱説明書 チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） アルカリ電池（9V 形、本体に接続済み） 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

# 使用上のご注意

## 電池について

- 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、ACアダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードやACアダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

## 修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

## その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

## 知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。  
Copyright © 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.  
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License" );  
You may obtain a copy of the License at  
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>  
Copyright © 2016, Freescale Semiconductor, Inc.  
Copyright 2016-2019 NXP  
All rights reserved.  
Licensed under the BSD-3-Clause  
You may obtain a copy of the License at  
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>
- Roland、BOSS、LOOP STATIONは、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標、または登録商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

 **BOSS**